

留学先：Clemson University

氏名： 吉田 莉久

【はじめに】

12月に入り、ここクレムソンでも1日だけ雪が降りました。ここではあまり雪が降らないためか、多くの学生が嬉しそうに雪を眺めたり、雪で遊んだりする姿が見られました。私自身、久々の雪にはしゃぎ、友人と1時間以上外で雪合戦をしたり、雪だるまを作ったりしました。雪を見て福井を思い出し、少し日本が恋しいなども感じました。さて、今月は今学期を終えての感想と冬休みの旅行について報告したいと思います。

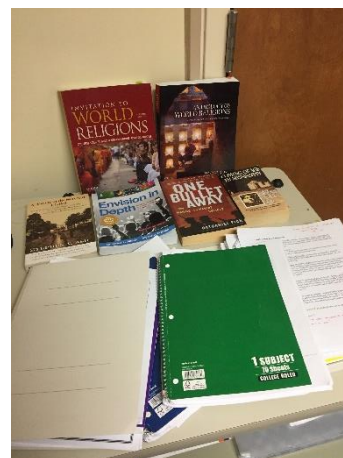


【今学期を終えて】

12月の前半から中旬にかけては期末テスト期間でした。連日、図書館はたくさんの学生で溢れ、夜中の3時になってもまだ勉強している学生が多くみられました。私の場合は試験が3つ、レポートが4つあり、この期間は本当に毎日勉強に追われて忙しかったです。

今学期を振り返ってまずよかったことは、自分から積極的に動いて部活動等に参加し、友人の幅を広げることが出来たことです。これまでも報告したように、私がクレムソンに来た当初に1番悩んだことは、友人作りでした。自身の英語力に自信が持てず、他の人と上手くコミュニケーションが取れませんでした。そのため、初めの2週間は心細く、はやく日本に帰りたいとばかり考えていました。しかし、部活動に参加することで友人が増え、普段の生活をより充実したものにすることが出来ました。

勉強面に関しては、前半は真面目に予習や復習に取り組むことが出来たものの、後半はそれほど取り組めませんでした。理由としてはクレムソンでの生活に慣れ、予習も大体これで大丈夫だろう、と怠惰になっていたからのように思えます。ただ、どの授業も本当に学ぶことが多かったです。英語の授業ではアカデミックな文章の書き方、教育では幼稚園への訪問、アメリカの教育制度について、などこれらの授業は私が将来教員になるうえで必要な知識や経験を与えてくれました。歴史と宗教の授業は、私に新たな視点を与え、過去や多様性について知ることの重要性を教えてくださいました。ライフルの授業は、良いストレス発散の場で、アメリカでしか出来ない経験をする事が出来ました。どの授業にも共通して言えることは、先生方が親切で、いつでも私を助けてくださったことです。そのおかげ



で辛くても授業にもついていくことが出来たので、本当に感謝しています。

留學生活後半の目標は、何事にも「謙虚」に取り組むことです。自分が今こうして留學出来ていることに感謝し、自分の英語力を上げるために何が出来るか、将来自分が教員になって具体的に何をしたいのか、などこの留學生活のなかで常に考え、行動していけるように心掛けたいです。

【友人との別れ】

1部を除き、留學生のほとんどは今学期を終えて各国に帰ってしまいました。クレムソンに初めて来て、何も分からない状況の中で、一番初めに仲良くなったのは同じ留學生としてクレムソンに来ていた彼らでした。その中には、ほぼ毎週一緒にダウンタウンへ行っていた飲み仲間、同じ歴史の授業を取っていた友人、部活動と一緒に参加した友人、そしてルームメイトも含まれていて、別れが本当に辛かったです。様々な点で異なる背景を持つ彼らと関わることは、自分の知らないことを知ることにつながり楽しかったです。別れの3日前には、お別れ会としてルームメイトに日本食も振る舞いました。肉じゃが、照り焼きチキン、鍋、卵焼き、から揚げなど出来るだけ多くの日本食を作ったところ、なかなかの好評だったため、作った甲斐があったなと感じました。彼らが国へ帰った後もまだ連絡は取り続けているので、来年には各国を訪れて再開を果たしたいと思います。



【冬休み】

学期中は勉強に追われ、ゆっくり旅行する余裕もなかったため、この冬休みは初めから最後まで存分に楽しみました。実際、冬休みが始まる12月16日になると同時にクレムソンを出発し、大学が始まる1日前の1月9日にクレムソンに帰りました。

初めの3日間は、アメリカ人の友人宅にお邪魔させてもらい、友人の友人たちと遊んだり、友人の家族と一緒に食事をしたり、とリラックスした時間を過ごすことが出来ました。その後は、日本で同じ大学に通う友人と合流し、オークランド、サンフランシスコ、ロスア

ンゼルス、ラスベガスと西海岸を転々と旅行しました。どの街も楽しく旅行出来ましたが、特にラスベガスでの旅が印象的でした。初めて訪れたグランドキャニオンでは、息をのむほどの絶景に感動し、自然の壮大さに圧倒されました。加えて、アンテロープキャニオンやホースシューベントを訪れることが出来たのもよかったです。また、ベガスでの滞在が長かったため、勇気を出してスカイダイビングに挑戦することも決めました。地上 3000 メートルから飛び降りたことは一生忘れられない経験です。他にも、年末には日本で同じ学科を専攻している友人たち 5 人とベガスで集まり、楽しい年末を過ごすことが出来ました。年明け後には友人達と別れ、ニューヨーク、ワシントン DC へと一人旅もしました。

この旅を通して最も強く感じたことは、歴史についてもっと知っておく必要があるということです。私はこの旅の中でいくつかの博物館を訪れましたが、その中でも特にニューヨークの 9.11 Museum と DC の Holocaust Museum が印象に残っています。これらの博物館で見たものは、思わず目をそむけたくなくなるほど生々しい映像や歴史の事実でした。私はそこを訪れるまで単に 9.11 や Holocaust を歴史上の 1 つの出来事としか捉えておらず、その経緯や事実を知りませんでした。Holocaust Museum の最後にあった”To forget the dead would akin to kill them a second time”という言葉が今でも忘れられません。歴史を知るとは今を知り、未来を知ることにもつながると思うので、留学中にさらにアメリカという国、そして日本の歴史についても理解を深めることが出来るよう努力したいと思います。



以上が 12 月の報告内容です。

次回は、新学期について報告していきます。